

大舞台での発表に気分は最高！ ウリカラゲモイム！！

「ウリカラゲモイム」の始まりは、1982年。韓国・朝鮮の児童生徒とその仲間約1,000人がホールに集い、歌や踊り、演劇などで民族的連帯感と仲間づくりを勧める取組みが八尾市で始まりました。それが、現在の「ウリカラゲモイム」です。今では、様々なルーツの子どもたちとその仲間たちが集う民族文化フェスティバルとなりました。

今年で44回目を迎える「ウリカラゲモイム」が、15日(土)にプリズムホールで開催され、亀井小学校も参加しました。本校では、4～6年生の有志のメンバーで9月から練習を重ねてきました。前日14日(金)のリハーサルを終え、この日の舞台を迎えました。発表順は10番目。出番が近づくにつれ緊張も高まってきたと思うのですが、立派に演奏を披露してくれました。

最後になりましたが、出演した児童の保護者の皆様もお迎え等でご協力いただき、ありがとうございました。



「じんけん作品展示会」も開催

人権について楽しく知って学んでいただくことを目的として開催された八尾市「ひゅーまんフェスタ 2025」、「ウリカラゲモイム」もそのプログラムの一つになります。

同じく4階の部屋では「じんけん作品展示会」が開催されており、本校の児童（2年生1名、1年生2名）の人権作品が展示されていました。

